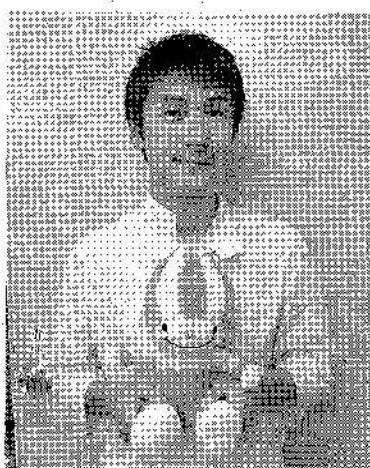


1年間の「ニート」をへて
清流国体PRの職に就いた

やまぐち たかし
山口 貴司さん (26) = 羽島市



約1年間の「ニート」期間を
経て、4月上旬、職に就いた。
12年の清流国体をPRする、県
の「キャラバン隊」の一員とし
て、イメージキャラクターのミ
ナモと一緒に幼稚園やスポーッ
イベントなどを訪れている。
「子どもたちに『ミナモ知って
る』って言われるとうれしいう
すね」と顔をほころばす。

東京の専門学校で時計の修理

ひだ
み
の
人

まず一步を踏み出して

を学んだ後、時計店などで働いた。店を持ちたいという夢があったが、なぜか将来への漠然とした不安がこみ上げるようになり、仕事に行けなくなった。ニートやフリーターの就職支援をしている「県若者サポートステーション」を訪れたのは、それから約1年後の昨年6月だ。

集まってくる仲間と、話をしているうちに、みんながいろいろなきっかけで仕事に行けなくなったことが分かった。失敗したり、人間関係がうまくいかなかったり。いろんな理由で、一步が踏み出せなくなることがある。それが分かっているから、どこかで否定していた自分を受け入れることができるようになった。「『これが僕の仕事』と言えるものを見つけない」と話
す。
いま悩んでいる人へ伝えたい。「まず一步を踏み出してみ
て。だめなら次を探せばいいか
ら」
(磯崎こず恵)